

鹿児島市立小学校・中学校の学校規模適正化・適正配置に関する基本方針(素案)に係る
パブリックコメント手続の実施結果について

1. 意見の募集期間 平成29年12月20日(水)～平成30年1月24日(水) 36日間

2. 意見の件数(人数) 372件(77人)

3. 意見の対応状況

(単位:件)

項目 対応区分	1	2	3	4	5	計
	学校の規模適正化・適正配置の必要性について	適正な学校規模と適正配置の考え方について	学校規模を適正化する手立てについて	学校の規模適正化・適正配置を進める上での留意点について	その他	
A 意見の趣旨等を反映し、基本方針案に盛り込むもの	0	0	0	0	1	1
B 意見の趣旨等は、基本方針素案に盛り込み済みのもの	24	16	11	20	0	71
C 基本方針案には盛り込まないもの	2	5	0	0	0	7
D 具体的な事業等の実施にあたり参考とするもの	0	8	1	24	0	33
E その他要望・意見等	45	55	62	54	44	260
計	71	84	74	98	45	372

パブリックコメント手続で提出された「意見の対応状況」について（平成29年12月20日～平成30年1月24日実施）

意見等を受けた人数
77人

項目	1 学校の規模適正化・適正配置の必要性について
	2 適正な学校規模と適正配置の考え方について
	3 学校規模を適正化する手立てについて
	4 学校の規模適正化・適正配置を進める上での留意点について
	5 その他

対応区別の項目数、件数

対 応 区 分	件数
A. 意見の趣旨等を反映し、基本方針案に盛り込むもの	1
B. 意見の趣旨等は、基本方針素案に盛り込み済みのもの	71
C. 基本方針案には盛り込まないもの	7
D. 具体的な事業等の実施にあたり参考とするもの	33
E. その他要望・意見等	260
計	372

パブリックコメント手続での意見

○対応区分 「A. 基本方針案に盛り込むもの」、「B. 基本方針案に盛り込み済みのもの」、「C. 基本方針案に盛り込まないもの」
「D. 具体的な事業の実施にあたり参考とするもの」「E. その他要望・意見等」

番号	項 目	意 見 等 の 概 要	対 応 状 況	対応区分
1	5	将来人口の各年度に総人口数を記入すると分かりやすい。	ご指摘のありました「Ⅱ-1 鹿児島市及び市立小・中学校の状況」の「鹿児島市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」のグラフについては、将来人口の推移を分かりやすくするため、総人口数を追加いたします。	A
2	1	様々なデータから、本市においても都市部のドーナツ化現象が進んでいることがよくわかりました。この時期における検討は必要と考えます。	賛同のご意見として、承ります。	B
3	1	規模が大きすぎる学校は、生徒一人一人への対応が難しい。特に配慮が必要な子供に対して不安。	ご意見については、「Ⅲ-2-(2) 大規模校の特徴」の中で掲載しており、学校規模に起因する教育課題を解消していけるよう、よりよい教育環境の整備に努めてまいります。	B
4	1	基本方針のとおりで問題なし。	賛同のご意見として承ります。	B
5	1	児童生徒が、個々のもつ学力・運動能力の充実が図れるような学校規模を確保する必要がある。	ご意見の方向で、検討を進めてまいります。	B
6	1	小さすぎても大きすぎても十分な教育環境を子どもたちに与えられないので必要なことだと思います。	賛同のご意見として承ります。	B
7	1	必要である。	賛同のご意見として承ります。	B
8	1	必要と考える。	賛同のご意見として承ります。	B

番号	項目	意見等の概要	対応状況	対応区分
9	1	妥当	賛同のご意見として承ります。	B
10	1	規模が大きすぎても、小さすぎても、教育への支障が出てくるとされるため、無理のない範囲で適正化することに賛成です。	ご意見の方向で、検討を進めてまいります。	B
11	1	児童生徒の教育効果、学力、体位、体力の向上の面等からして、最も必要かつ重要課題と思う。資料にあるとおり、今後十分検討して具体的な案を示していただきたい。	ご意見の方向で、検討を進めてまいります。	B
12	1	学校周辺の環境によりますが、子供の教育、安全面を考えると適正化は必要と考える。	ご意見の方向で、検討を進めてまいります。	B
13	1	住宅地の開発などによって、学校の必要な地域は変化すると思う。よって、必要だと思います。	ご意見の方向で、検討を進めてまいります。	B
14	1	必要性はある。	賛同のご意見として承ります。	B
15	1	当然必要である。100人に満たない学校がある中、1,000人に近い学校もあるため、適正な規模にしていく必要がある。	賛同のご意見として承ります。	B
16	1	規模の適正化・適正配置は必要であると思う。児童生徒の学習面や教育活動を行う上では、先生方の負担、受け手の子供たちの理解度の把握がしやすい方がよいと思う。	ご意見の方向で、検討を進めてまいります。	B
17	1	必要性は認める。	賛同のご意見として承ります。	B
18	1	小規模校の良さは多くあり、また小規模校でなければ体験できないような行事・教育活動・人とのつながりは価値あるものばかりである。しかし、デメリットと考えられる部分が強く感じられると、良さも見えなくなってしまうため、時代や地域社会の有り様によって規模を適正化する必要性を感じる。	ご意見の方向で、検討を進めてまいります。	B
19	1	過小規模校・小規模校と大規模校・過大規模校の状況を見ると、地区的に偏りがあり、適正化・適正配置が可能なおとところがあり、必要性があると思われる。	ご意見の方向で、検討を進めてまいります。	B
20	1	必要性を感じる。	賛同のご意見として承ります。	B

番号	項目	意見等の概要	対応状況	対応区分
21	1	素案のとおりでよいです。	賛同のご意見として承ります。	B
22	1	学校の役割、教育活動におけるメリット・デメリットから考えますと、学校の規模適正化・適正配置の必要性はあると考えます。	賛同のご意見として承ります。	B
23	1	いいと思います。	賛同のご意見として承ります。	B
24	1	小規模・大規模校のデメリットを考えると必要性はあると思います。	賛同のご意見として承ります。	B
25	1	よいと思います。小・大規模校でメリット・デメリットがあるのでどうしても仕方がないと思いますが、出来る限り児童に悪い影響にならないようにと、希望したいです。	ご意見の方向で、検討を進めてまいります。	B
26	2	全国的なデータと比較しても、妥当と考えます。	賛同のご意見として承ります。	B
27	2	当面「素案」の内容でいいと思う。	賛同のご意見として承ります。	B
28	2	市教委が考えている学校規模が、一番適正だと考える。	賛同のご意見として承ります。	B
29	2	妥当	賛同のご意見として承ります。	B
30	2	妥当と思う。	賛同のご意見として承ります。	B
31	2	学校行事、地域行事へ学校が積極的に参加できる適正規模を考えるべきである。	ご意見については、「VI-2 保護者や地域の方々の理解と協力」の中で掲載しており、地域行事と学校行事の連携等を行いながら、地域と学校の相互協力的な関係が維持されていくよう努めてまいります。	B
32	2	適正である。	賛同のご意見として承ります。	B

番号	項目	意見等の概要	対応状況	対応区分
33	2	市教委案の適正な学校規模で学校が運営される限り、健全な学校運営がなされると思われます。	ご意見の方向で、検討を進めてまいります。	B
34	2	考え方は、資料の内容で適正だと思う。	賛同のご意見として承ります。	B
35	2	今回の基本方針で示された学校規模と配置は現状では妥当と思える。	ご意見の方向で、検討を進めてまいります。	B
36	2	適正な規模・配置の範囲は鹿児島市で提示している規模で概ね良いものと思われます。	ご意見の方向で、検討を進めてまいります。	B
37	2	小規模校・大規模校のメリット・デメリットを考慮して、提示されている規模・配置基準でよいと思う。	ご意見の方向で、検討を進めてまいります。	B
38	2	素案のとおりでよいです。	賛同のご意見として、承ります。	B
39	2	いいと思います。	賛同のご意見として承ります。	B
40	2	検討する範囲は適切だと思います。	賛同のご意見として承ります。	B
41	2	学校規模、通学距離、時間ともに基本方針は妥当と考えます。	賛同のご意見として承ります。	B
42	3	様々な手立てを列挙していただき、学校の実情に応じた手立てを講じていただきたいと思います。	ご意見については、「Ⅴ 学校規模を適正化する手立て」の中に掲載しており、実際に、保護者や地域の方々との理解と協力のもとで適正化を進める場合は、各学校の実情に応じた手立てについて検討してまいります。	B
43	3	現在の学校の置かれた立場、動向を十分に踏まえた適切な手立てであると思います。失敗を恐れずに、子供たちの夢や幸福をかなえられるよう、子供の目線に立って「手立て」を確実に実行していただきたい。	ご意見の方向で、検討を進めてまいります。	B
44	3	教育委員会だけでなく、市行政全体で考える必要があるのではないかと。	ご意見については、「Ⅵ-5 関係機関等との連携」の中で掲載しており、学校の規模適正化・適正配置については、各種施策を行う関係機関等とも連携しながら取り組むよう努めてまいります。	B

番号	項目	意見等の概要	対応状況	対応区分
45	3	基本方針のとおりで問題なし。	賛同のご意見として承ります。	B
46	3	いずれも適正な手立てが立てられている。	賛同のご意見として承ります。	B
47	3	問題なし。	賛同のご意見として承ります。	B
48	3	子供たちにとってよりよい教育環境を整えてほしい。	ご意見の方向で、検討を進めてまいります。	B
49	3	素案のとおりでよいです。	賛同のご意見として、承ります。	B
50	3	提案項目の中、児童・生徒のよりよい環境の配慮をお願いします。	ご意見の方向で、検討を進めてまいります。	B
51	3	いいと思います。	賛同のご意見として承ります。	B
52	3	よいと思います。	賛同のご意見として承ります。	B
53	4	地域の学校に対する関心が高いので、何よりも地域の十分な理解がなされることが大切だと思います。	ご意見については、「Ⅵ-2 保護者や地域の方々の理解と協力」の中で掲載しており、保護者や地域の方々の理解と協力を得ながら協議を進めてまいります。	B
54	4	案としては問題なし。	賛同のご意見として承ります。	B
55	4	通学手段については、特段の配慮をお願いしたい。	ご意見については、「Ⅵ-3 通学環境・通学手段への配慮」の中で掲載しており、児童生徒の通学にかかる負担軽減や保護者の経済的負担の軽減が図られるよう配慮してまいります。	B
56	4	子供のよりよい教育のために、地域や保護者、学校、双方の意見をくみ取り、計画を進めていただくことに感謝いたしております。	賛同のご意見として承ります。	B

番号	項目	意見等の概要	対応状況	対応区分
57	4	留意点がたくさんありますね。書かれていることすべてに賛同いたします。子供たちのために、整えていってくださることに感謝いたします。	賛同のご意見として承ります。	B
58	4	地域の方への丁寧な説明を望みます。	ご意見については、「Ⅵ-2 保護者や地域の方々の理解と協力」の中で掲載しており、保護者や地域の方々の理解と協力を得ながら協議を進めてまいります。	B
59	4	教育委員会だけでなく、あらゆる行政機関と連携しながら、将来的な地域の発展性などを見極めることが大切である。	ご意見については、「Ⅵ-5 関係機関等との連携」の中に掲載しており、取組が具体化した場合には、各種施策を行う関係機関等とも連携しながら取り組んでまいります。	B
60	4	子供たちの通学、放課後の安全性、子供たちの気持ちの配慮等が必要だと思います。	ご意見については、「Ⅵ 学校の規模適正化・適正配置を進める上での留意点」の中で掲載しており、子供たちにとってよりよい教育環境を整備し、充実させていくという観点で取り組んでまいります。	B
61	4	特に、小学校はこれまで永年に渡り、地域の拠点として、大きな役割を担ってきているので、校区の関係各位と誠心誠意協議を重ねてほしい。	ご意見については、「Ⅵ-2 保護者や地域の方々の理解と協力」の中で掲載しており、保護者や地域の方々の理解と協力を得ながら協議を進めてまいります。	B
62	4	小中学校の適正規模を図るには、人口の推移「児童生徒数」に基づくことが、極めて必要不可欠のことであるが、これまでの地域社会の歴史や教育的伝統を十分踏まえて事を推進することが肝要かと考える。	ご意見については、「Ⅵ-2 保護者や地域の方々の理解と協力」の中で掲載しており、地域が培ってきた歴史や文化などを踏まえながら、地域と学校の相互協力的な関係が維持されていくよう努めてまいります。	B
63	4	小規模校でも、学校はその地区の文化センターとして機能していて、地域のコミュニティとしてのまとまりもあるので、保護者や地域の理解を得る必要がある。	ご意見については、「Ⅵ-2 保護者や地域の方々の理解と協力」の中で掲載しており、保護者や地域の方々の理解と協力を得るために、意見や要望を伺いながら協議を進めてまいります。	B
64	4	素案のとおりでよいです。	賛同のご意見として、承ります。	B
65	4	学校の運営は、子供やその保護者だけでなく、地域住民が深くかかわっていると思います。意見交換をしながら、計画を進めていく必要があると思います。	ご意見については、「Ⅵ-2 保護者や地域の方々の理解と協力」の中で掲載しており、保護者や地域の方々の理解と協力を得るために、意見や要望を伺いながら協議を進めてまいります。	B
66	4	地域・学校・校区の意見をしっかり聞いた上で、計画を進めていただきたいです。	ご意見については、「Ⅵ-2 保護者や地域の方々の理解と協力」の中で掲載しており、保護者や地域の方々の理解と協力を得るために、意見や要望を伺いながら協議を進めてまいります。	B
67	4	子どもたちのよりよい学習環境の為に必要なことだと考えますが、地域の理解や協力を得られる形で進めていくことは大変かと考えます。目的のための理解を得られるようご尽力を宜しくお願い致します。	ご意見については、「Ⅵ-2 保護者や地域の方々の理解と協力」の中で掲載しており、保護者や地域の方々の理解と協力を得ながら協議を進めてまいります。	B
68	4	留意点はその通りだと思います。	賛同のご意見として承ります。	B

番号	項目	意見等の概要	対応状況	対応区分
69	4	いいと思います。	賛同のご意見として承ります。	B
70	4	児童・生徒の通学手段については、特段の配慮が必要である。	ご意見については、「Ⅵ-3 通学環境・通学手段への配慮」の中で掲載しており、児童生徒の通学にかかる負担軽減や保護者の経済的負担の軽減が図られるよう配慮してまいります。	B
71	4	子供たちの安全・メンタルを考えると進めていただけたら問題はないと思います。何かあれば協力いたします。	賛同のご意見として承ります。	B
72	4	難しい問題が出てくるかと思いますが、よいと思います。	賛同のご意見として承ります。	B
73	1	高校以上の統廃合と学区の大きな見直しが必要と考える。	本基本方針については、鹿児島市立小学校・中学校を対象として検討することとしております。	C
74	1	適正規模校のメリット・デメリットに触れていない。すべてが解決されるとは思えない。	ご意見については、本基本方針が学校規模に起因する教育課題を解決し、子供たちのよりよい教育環境を目指すものであることから、現行のままといたします。	C
75	2	適正配置の基準で通学距離が小学校で4 km以内は遠すぎるのではと考えます。子供の足では1.5 kmで30分程度かかります。1時間以内ではとても通学は困難と思えます。	ご意見については、「Ⅳ 適正な学校規模と適正配置の考え方」の中で掲載しており、「鹿児島市における適正配置の基準」は、国の法令や文部科学省の「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引き」を踏まえるとともに、鹿児島市学校規模適正化検討委員会による検討結果を基に設定したところです。	C
76	2	通学距離が4～6 km構想は、やや酷な感じがする。2～3 km程度（30分以内）ぐらいがいいのでは。	ご意見については、「Ⅳ 適正な学校規模と適正配置の考え方」の中で掲載しており、「鹿児島市における適正な学校規模」は、国の法令や文部科学省の「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引き」を踏まえるとともに、鹿児島市学校規模適正化検討委員会による検討結果を基に設定したところです。	C
77	2	中学校は、学年4クラス以上がいい。（体育は2クラス合同で行うため）	ご意見については、「Ⅳ 適正な学校規模と適正配置の考え方」の中で掲載しており、「鹿児島市における適正な学校規模」は、国の法令や文部科学省の「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引き」を踏まえるとともに、鹿児島市学校規模適正化検討委員会による検討結果を基に設定したところです。	C
78	2	よく考えられていると思います。適正配置については、距離を小学校3km以内、中学校5km以内にすることを求めます。（中学生の荷物の重さ、身体への負担は大です。）	ご意見については、「Ⅳ 適正な学校規模と適正配置の考え方」の中で掲載しており、「鹿児島市における適正な学校規模」は、国の法令や文部科学省の「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引き」を踏まえるとともに、鹿児島市学校規模適正化検討委員会による検討結果を基に設定したところです。	C
79	2	適正な学校規模・適正化を検討する範囲は問題ないと思いますが、通学時間をもう少し短く検討できないでしょうか。	ご意見については、「Ⅳ 適正な学校規模と適正配置の考え方」の中で掲載しており、「鹿児島市における適正な学校規模」は、国の法令や文部科学省の「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引き」を踏まえるとともに、鹿児島市学校規模適正化検討委員会による検討結果を基に設定したところです。	C
80	2	適正配置の基準だと、スクールバスが必要になると考えます。	ご意見については、「Ⅵ-3 通学環境・通学手段への配慮」として、検討を進めていく中で、参考とさせていただきます。	D

番号	項目	意見等の概要	対応状況	対応区分
81	2	適正化を検討する範囲となっている学校の多くが、町に一つの学校だったりします。今後、統合されたり小中一貫型になることを考えた場合、スクールバスの運行も含めて、通学距離を見直すべきではないでしょうか。	ご意見については、「Ⅵ-3 通学環境・通学手段への配慮」として、検討を進めていく中で、参考とさせていただきます。	D
82	2	自転車通学を認めれば、適正配置の基準の距離を伸ばすことができる。そもそも、中学生のカバンは、背負ってみるととても重く、部活のバックなどもあるため、2 km以上くらいから自転車通学を認めてもよいのではと思う。	ご意見については、「Ⅵ-3 通学環境・通学手段への配慮」として、検討を進めていく中で、参考とさせていただきます。	D
83	2	教師がゆとりをもって、子供としっかり向き合う教育環境づくりが、学校教育での最重要課題ではないのか。	ご意見として承ります。 よりよい教育環境の整備・充実のためには、教師にゆとりをもたせ、子供としっかり向き合うことが必要であると考えため、検討を進めていく中で、参考とさせていただきます。	D
84	2	急速な地域社会の変化を考えたとき、適正な規模と配置の考え方については、定期的な見直し等が必要ではないかと考える。	ご意見については、「Ⅳ 適正な学校規模と適正配置の考え方」として、具体的な検討を進めていく中で、参考とさせていただきます。	D
85	2	通学時間は近年の安全面を考えると1時間は長いように思えるが、スクールバス等の検討があれば良いと思う。	ご意見については、「Ⅵ-3 通学環境・通学手段への配慮」として、検討を進めていく中で、参考とさせていただきます。	D
86	2	児童生徒が減少している地域は高齢の方々が多くなっていると思うので、あいバスの範囲やコースを多くしてもらい通学できる範囲の小中学校と統合できればいい。	ご意見については、「Ⅵ-3 通学環境・通学手段への配慮」として、検討を進めていく中で、参考とさせていただきます。	D
87	2	校区の端に住んでいるので、学校を選択できるとか、途中までの見守り、スクールバスの導入なども検討してほしい。	ご意見については、「Ⅵ-4 通学環境・通学手段への配慮」として、検討を進めていく中で、参考とさせていただきます。	D
88	3	校区の変更や学校の統合で、適正が図られると表現されているが、デメリットの部分も文言として入れるべきだと思う。	「Ⅴ 学校規模を適正化する手立て」については、取組が具体化した場合、保護者や地域の方々との協議の中で、学校規模に起因する教育課題等について検討してまいります。	D
89	4	きちんと安全な通学路等、現状を考えて配置等をしてほしい。	ご意見については、「Ⅵ-3 通学環境・通学手段への配慮」の中で掲載しており、各学校の通学環境の実態に応じて、子供たちの安全が確保できるよう努めてまいります。	D
90	4	いじめ・不登校で、わざわざ校区外（特認校）の学校を選んでいる家庭もある。そこを考えると、小規模校を統合するのはきちんと考えてほしい。	ご意見については、「Ⅵ 学校の規模適正化・適正配置を進める上での留意点」として、検討を進めていく中で、参考とさせていただきます。	D
91	4	大規模校で不登校になった児童が小規模校に来て、登校できるようになるというケースもあるため、そのようなケースに対応する為には、小規模校の存在する意義もあるのではと考えます。	ご意見については、「Ⅵ 学校の規模適正化・適正配置を進める上での留意点」として、検討を進めていく中で、参考とさせていただきます。	D
92	4	小規模校に居場所を求める児童もいるということに留意してもらいたいと考えます。また、小規模校は校区の方々とのつながりが強く、統合となると強い反対が出ると思います。理解と協力を得ながらというのはなかなか困難ではないかと思えます。統合ありきでものを考えるのではなく、多様な意見を取り入れて進めてほしいと考えます。	ご意見については、「Ⅵ 学校の規模適正化・適正配置を進める上での留意点」として、検討を進めていく中で、参考とさせていただきます。	D

番号	項目	意見等の概要	対応状況	対応区分
93	4	児童生徒の登下校時の安全確保のため、協力者の依頼の手立てを考えるべきではないか。	ご意見については、「Ⅵ-3 通学環境・通学手段への配慮」の中で掲載しており、各学校の通学環境の実態に応じて、子供たちの安全が確保できるよう努めてまいります。	D
94	4	アメリカの学校のように広くスクールバスで児童・生徒を拾って回る時代が既に来ていると思う。桜島等はスクールバスを利用し、1小学校1中学校でいいと思う。	ご意見については、「Ⅵ-3 通学環境・通学手段への配慮」として、検討を進めていく中で、参考とさせていただきます。	D
95	4	過疎化が進む小規模校は合併して、スクールバスを出せば、それなりの人数は集まると思う。	ご意見については、「Ⅵ-3 通学環境・通学手段への配慮」として、検討を進めていく中で、参考とさせていただきます。	D
96	4	子供、保護者への事前アンケートは必要だと思う。	ご意見については、「Ⅵ-2 保護者や地域の方々の理解と協力」の中で掲載しており、保護者や地域の方々の理解と協力を得るために、意見や要望を伺いながら協議を進めてまいります。	D
97	4	「基本方針」を早目に市民に広報（周知）し、時間をかけて地域や保護者に説明し、賛否両論を大事にして、事を進めてほしい。拙速はやめてほしい。	ご意見については、「Ⅵ-2 保護者や地域の方々の理解と協力」の中で掲載しており、保護者や地域の方々の理解と協力を得るために、意見や要望を伺いながら協議を進めてまいります。	D
98	4	通学路変更や距離も長くなるので、子供の安全確保には万全を期してもらいたい。	ご意見については、「Ⅵ-3 通学環境・通学手段への配慮」の中で掲載しており、各学校の通学環境の実態に応じて、子供たちの安全が確保できるよう努めてまいります。	D
99	4	中学校については、徒歩ではなく、自転車通学も考えてほしい。	ご意見については、「Ⅵ-3 通学環境・通学手段への配慮」の中で掲載しており、各学校の通学環境の実態に応じて、子供たちの身体的負担が過度にならないよう配慮してまいります。	D
100	4	近くに学校がなくなると、ますます過疎化が心配ですが、通学手段、バスの時間の見直しやスクールバス等も検討していただきたい。	ご意見については、「Ⅵ-3 通学環境・通学手段への配慮」として、検討を進めていく中で、参考とさせていただきます。	D
101	4	学校の統廃合をするよりも、通学手段（通学バス等）をきちんと確保し、現在ある学校を活かしていく方がよい。	ご意見については、「Ⅵ-3 通学環境・通学手段への配慮」として、検討を進めていく中で、参考とさせていただきます。	D
102	4	統合しても小規模校が解消されない場合、小規模校のよさを生かすため、きめ細かな学習や生活面の指導に特化した予算（全児童生徒にタブレットを配布といったICTの充実など）や人的配置（個別指導のための学習支援員の増員など）を行うなどのアピールがあると、入学予定の保護者は、その場所で子どもを育てていきたいと思うのではないかと。統合しても小規模校のまま、行政主導のインパクトのある特色がなければ、私立や中高一貫校へ子どもは出て、さらに児童・生徒数の減少が加速してしまうのではと危惧する。保護者や地域への説明で、より具体的な提案があると理解も早いのではと感じる。	ご意見については、「Ⅵ 学校の規模適正化・適正配置を進める上での留意点」として、検討を進めていく中で、参考とさせていただきます。	D
103	4	一つまとまった地域に存在する学校について、適正化していかなければならない現状を十分に説明して、地域住民、特に保護者の意見等を十分に参考にして、いくつかの案を市教委が提案して、行政主導で適正化を図っていただきたい。	ご意見については、「Ⅵ-2 保護者や地域の方々の理解と協力」の中で掲載しており、保護者や地域の方々の理解と協力を得るために、意見や要望を伺いながら協議を進めてまいります。	D

番号	項目	意見等の概要	対応状況	対応区分
104	4	地域住民、特に保護者に現状を説明し、将来的な展望に立って、説明していく必要がある。特に、未就学児(0～6歳)を持つ保護者への説明が重要ではないかと考える。少なくとも2～3年程度は、必要であるとする。	ご意見については、「VI-2 保護者や地域の方々の理解と協力」の中で掲載しており、保護者や地域の方々の理解と協力を得るために、意見や要望を伺いながら協議を進めてまいります。	D
105	4	実施に当たっては、その後の教育ビジョン等について地域住民や保護者等とのコンセンサスも十分取って頂きたいと思えます。(学校行事への地域住民の参加周知、逆に地域行事への子供たちの積極的な参加への配慮等も含め)	ご意見については、「VI-2 保護者や地域の方々の理解と協力」の中で掲載しており、保護者や地域の方々の理解と協力を得るために、意見や要望を伺いながら協議を進めてまいります。	D
106	4	通学等で、危険な箇所等がないか、十分に見てほしい。	ご意見については、「VI-3 通学環境・通学手段への配慮」の中で掲載しており、各学校の通学環境の実態に応じて、子供たちの安全が確保できるよう努めてまいります。	D
107	4	少数ですが、小規模校に魅力を感じてわざわざそちらへ入学される方もいらっしゃると聞きました。小さな集団だからこそ、個性を伸ばせた子もいる様に思えます。何がいいのかわかりませんが、その様な方々に意見を聞く機会があり、小規模校を希望する児童や生徒がいるのであれば、最善を探っていけたらいいと思えます。	ご意見については、「VI 学校の規模適正化・適正配置を進める上での留意点」として、検討を進めていく中で、参考とさせていただきます。	D
108	4	子供たちの通学における安全面の確保について、また手段についての整備をお願いしたい。	ご意見については、「VI-3 通学環境・通学手段への配慮」の中で掲載しており、各学校の通学環境の実態に応じて、子供たちの安全が確保できるよう努めてまいります。	D
109	4	適正配置の中の通学時間1時間以内が気になりますが、その分の安全と手段の整備をお願いしたい。	ご意見については、「VI-3 通学環境・通学手段への配慮」の中で掲載しており、各学校の通学環境の実態に応じて、子供たちの安全が確保できるよう努めてまいります。	D
110	4	他県から転勤で住んでいるが、他の都市に比べて学校の数が少ないと思う。また、通学手段も公共交通での通学を認めるなど工夫が欲しい。(もしかしらば許可されているのかもしれませんが。)	ご意見については、「VI-3 通学環境・通学手段への配慮」として、検討を進めていく中で、参考とさせていただきます。	D
111	4	通学バスも活用して、適正化して欲しい。	ご意見については、「VI-3 通学環境・通学手段への配慮」として、検討を進めていく中で、参考とさせていただきます。	D
112	4	小学校の規模適正化を進めるに当たっては、中学校区も考慮する必要があるのではないかと。	ご意見については、「VI 学校の規模適正化・適正配置を進める上での留意点」として、検討を進めていく中で、参考とさせていただきます。	D
113	1	素案に示された市教委当局の方針について 適正規模を目指すなら、もっと早い時期、タイミングの良い時期に対応すべきではなかったか。「なぜ今なのか」には疑問がある。とくに、過大規模校となっている中山小の場合は、もっと早く対策を講じるべきではなかったか。	ご意見として承ります。 学校の規模適正化・適正配置については、鹿児島市教育振興基本計画を踏まえ、鹿児島市学校規模適正化検討委員会から提出された提言を基に、適時、検討を進めているところです。	E
114	1	素案もご意見欄も、規模適正化の美句のもと「統合ありき」を押し進め、過疎地域を増々廃れさせるものである。本年度、コミュニティがスタートし、地域活性化に取り組んでおり、統合問題は適正ではない。	ご意見として承ります。	E
115	1	大規模校と小規模校の格差が進む中で、規模の適正化は必要と考えます。平等な教育という観点からメリット・デメリットに大きな格差があるべきではないと考えます。	ご意見として承ります。	E

番号	項目	意見等の概要	対応状況	対応区分
116	1	1クラスを多くて30人程度とし、児童生徒数の少ないところの廃（休）校化を簡単にしないこと。	ご意見として承ります。	E
117	1	少子化傾向を洞察した適正化は、必要であると思います。ただ、本地域の学校長のグランドデザインや特色ある学校づくりがしっかりしており、「子供が主人公である」という理念のもとで、適正化の考えに賛同したい。	ご意見として承ります。	E
118	1	規模を適正にするために、宅地又は開発しやすい宅地条件等を検討してほしい。	ご意見として承ります。	E
119	1	小規模校のデメリットに関しては、家庭教育とPTA活動で解消できるのではないかと。	ご意見として承ります。	E
120	1	すべての児童生徒に行き届いた教育を保証する。低下しつつある公教育の信頼回復のために、待ったなしの状況であり、必要性は大である。	ご意見として承ります。	E
121	1	小規模校の校区では、緊急課題だと思います。子供たちにおいては、先生方の目が行き届き、メリットの方が大きく感じられますが、PTAはデメリットが増え、問題が生じています。	ご意見として承ります。	E
122	1	子供の数が少ないと、多様な考え方の中で育つことができなくなり、複式学級では、教師による指導が45分の半分になり、学力向上は期待できないなどの理由により、必要だと思う。必要と考える保護者は多いと思う。	ご意見として承ります。	E
123	1	一桁の児童・生徒の学校は、教育のコンテンツはどうか。納税者の立場から学校経営のコスト面はどうか？	ご意見として承ります。	E
124	1	小規模校は経済効率が悪いはずだし、教育は大勢の中でもまれるのが本来の姿だと思う。離島だと統合できないが、陸続きのところでは統廃合を進めたらよい。	ご意見として承ります。	E
125	1	保護者としては、適当・適正な規模の学校に通学させたいと思うので、必要である。	ご意見として承ります。	E
126	1	学校の規模を考える前に、子育て世代への配慮が優先すると思います。次に、地域の活性化を考えるべきです。つまり、「暮らしやすさ」を第一に考えなくては、意味がないと思います。安心できる地域で子育てをしたい。	ご意見として承ります。	E
127	1	住宅が密集している地域ほど子供も多いし、過疎化が進む地域ほど子供が少ないのは仕方がないと思う。	ご意見として承ります。	E

番号	項目	意見等の概要	対応状況	対応区分
128	1	大規模校では、教育が行き届かないと言われることが多いが、1クラスに対しての人数はこの学校でも同率のため、教育も同等であると感じている。子供が健やかに育っていく上で、最低限度必要な教育は確保する必要がある。	ご意見として承ります。	E
129	1	広木小に平成10年頃勤務していたが、その後、造成地が増えて住宅が多くなった。それでも、当時に比べて100人程の児童が減っている。明和小も同じで、ほとんどがそのような状況と思われる。適正化が必要である。	ご意見として承ります。	E
130	1	学年が小さいほど、小規模校が望ましいと私は思います。手厚い教育がされると、そこで力を付けて、大きい集団になっても対応できると思います。	ご意見として承ります。	E
131	1	平等に教育を受けさせるためには、規模の適正化、適正な配置はとても重要なことだと思う。	ご意見として承ります。	E
132	1	吉野地域は、区画整理や団地開発により、分かれていった小学校もマンモス校に肥大化しました。適正規模の学校が必要であり、また、通学距離の均衡を図ることが必要である。	ご意見として承ります。	E
133	1	地域の高齢化が進み、助力を得ることが難しいため、学校の規模適正化・適正配置が必要だと思います。	ご意見として承ります。	E
134	1	小規模校・少人数学級の方が、いじめ等の問題や学力を把握しやすく、個に応じたきめ細かな指導ができる。	ご意見として承ります。	E
135	1	東桜島小に黒神小の児童を加え、黒神中に東桜島中の生徒を加える方法もあります。	ご意見として承ります。	E
136	1	学校の役割…個性に応じた能力・生き抜く力を身に付ける教育は、小規模校ほど可能であると思う。	ご意見として承ります。	E
137	1	小規模校のデメリット中「人間関係が固定化されやすく、関係が悪くなると解消されにくい。」という部分が、全く理解できない。	ご意見として承ります。	E
138	1	家庭でも地域でも人間関係が希薄になってくると、やはり学校での一人一人に接する時間が大切になりますが、それも授業時間が増え、行事等でも削られ、友達とも接する遊び体験が少なくなっている。どうしても、少人数クラスが大切だ。	ご意見として承ります。	E
139	1	学校が統廃合されると、地域の未来図に大きく影響する問題である。慎重に検討していくべきだ。	ご意見として承ります。	E

番号	項目	意見等の概要	対応状況	対応区分
140	1	学校の役割は、そのほかに地域の文化的支柱となって「住民の心の拠り所」である。適正規模・適正配置のみを強調すると、廃止された地域は、過疎化が急激に進み、取り返しのつかない結果になることは忘れてはならない。	ご意見として承ります。	E
141	1	「人は人中、木は木中」のたとえのとおり、ある程度の児童・生徒数が確保できなければ、児童生徒の社会性や人間性は、育っていかないと考える。また、中学校の場合、教員配置基準により、免許外で授業を担当しなければならない状況があるため、規模の適正化は必要である。	ご意見として承ります。	E
142	1	時代の流れ・変化から規模適正化・適正配置は避けて通れない問題で積極的な推進が望ましいと思います。	ご意見として承ります。	E
143	1	極小規模校ではやむを得ないところもあると思うが、人口減少でますます過疎化が進む。	ご意見として承ります。	E
144	1	少なくなっている（今後少なくなっていく）学校は、統合するべきだと思う。	ご意見として承ります。	E
145	1	児童数が多いと勉強する上で、先生方の目配り等が行き届かないため、市内全部で平等に勉強できる環境を作れるようにすべきである。	ご意見として承ります。	E
146	1	児童数が多くなっている学校については、隣の学校等を利用できるように改善すべきだと思う。	ご意見として承ります。	E
147	1	1学級の人数の見直す必要はないですか？小学校低学年の35人は多すぎで、先生が目も届かず大変そうだ。個性の強い子どもが今は多いと思う。	ご意見として承ります。	E
148	1	結果的にほんの一部の学校だけが対象（統合）になるということを憂慮する。	ご意見として承ります。	E
149	1	学校と地域活動の関わりが深くなっている地域は現状維持を希望する。子ども達や保護者、地域の負担を十分検討する必要がある。小規模校のメリットは地域も目が届き、職員も家族的な雰囲気の中で共通理解の上、課題解決に取り組むことができる。	ご意見として承ります。	E
150	1	学校の規模適正化・適正配置に関して、必要性を感じる。特に大規模・過大規模校に関しては早急に対応して欲しいと思う。（6年間で大規模・過大規模のまま、過ごすことがないようにして欲しい）	ご意見として承ります。	E
151	1	小規模校を適正化、統合等することに、学校維持費用や教職員数の問題からみると望ましいかもしれない。	ご意見として承ります。	E

番号	項目	意見等の概要	対応状況	対応区分
152	1	小規模校の校区・地域では、学校の存在そのものが地域の拠点を担っている。廃校となった場合、地域の活力は確実に低下する。統合や廃校は時代の流れから仕方のないことであろうが、地域が衰退しないよう、地域の方々の意見を尊重して、学校跡地の活用（計画）をセットで進めるべきである。	ご意見として承ります。	E
153	1	早急な適正化が必要である。	ご意見として承ります。	E
154	1	学習を行う上でのメリット・デメリットを考えると1学年20名未満となると、デメリットの方が大きくなる。（競争、チームの考え方、社会性など）	ご意見として承ります。	E
155	1	安易に、そして数だけの基準で小規模校の扱いをして欲しくはありません。切磋琢磨だけが教育活動の要になってはいけないと考えます。個に応じた能力は、小規模校でも教育方法の工夫で出来るはずです。	ご意見として承ります。	E
156	1	大規模校でも1学級当たりの人数によっては、記載されているデメリットが生じる場合もあるのではないかと。	ご意見として承ります。 「Ⅲ-2-(1) 大規模校の特徴」については、一般的な特徴として記載しているところです。	E
157	1	これからの時代を生き抜くためには、多様な考えに触れ、その中で自分の思いを表現して相手に伝えるといった、集団に働きかける力が求められる。より大きな集団の中で切磋琢磨しながら、個性を伸ばせるような活動が出来ることを望みます。	ご意見として承ります。	E
158	2	人数だけを見て、校区を整理するのは少し考えてほしい。	ご意見として承ります。 学校の規模適正化・適正配置については、児童生徒数のこれまでの推移やこれからの将来推計、学校規模に起因する教育課題、地域の実情などを考慮しながら、検討してまいります。	E
159	2	果たして何が「適正」なのか。学校の大きさ、通学時間だけで教育効果の「適正」が測れるのか。	ご意見については、「Ⅳ 適正な学校規模と適正配置の考え方」の中で掲載しており、「鹿児島市における適正な学校規模」、「鹿児島市における適正配置の基準」は、国の法令や文部科学省の「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引き」を踏まえるとともに、鹿児島市学校規模適正化検討委員会による検討結果を基に設定したところです。	E
160	2	小規模校、大規模校にはそれぞれメリット、デメリットがあると思うが、例えば、小規模校のメリットを生かしつつ、情報通信技術を生かしたインターネットを活用した大規模校等との交流、グローバル化、国際化を推進することも可能だと考える。	ご意見として承ります。	E
161	2	県内の小規模校以下の学校区にある保育園・幼稚園も、学校と同じ傾向であり、統合となると、入ってくる若者は皆無、出ていく若者が増え、標題の考え方以前の問題となることは明白です。	ご意見として承ります。	E
162	2	適正規模の範囲が小学校で2倍、中学校で2.5倍程度ありますが、これで本当に適正規模化といえるのかと考えます。もう少し、幅を小さくするべきではないかと思えます。	ご意見については、「Ⅳ 適正な学校規模と適正配置の考え方」の中で掲載しており、「鹿児島市における適正な学校規模」は、国の法令や文部科学省の「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引き」を踏まえるとともに、鹿児島市学校規模適正化検討委員会による検討結果を基に設定したところです。	E
163	2	本校区の隣接校が宮小であり、おおむね4 km以内は、保護者の児童の通学時の送迎は負担が大きい。十分に保護者や住民への説明責任を果たしていただきたい。	ご意見として承ります。	E

番号	項目	意見等の概要	対応状況	対応区分
164	2	「学校は地域の中心、宝」とあるという考え方を踏まえていただきたい。	ご意見として承ります。	E
165	2	小規模校の特性を生かし、人数が少ないだけで規模を決めてほしくない。	ご意見として承ります。 学校の規模適正化・適正配置については、児童生徒数のこれまでの推移やこれからの将来推計、学校規模に起因する教育課題、地域の実情などを考慮しながら、検討してまいります。	E
166	2	「Ⅱ-1 鹿児島市及び市立小・中学校の状況」において、児童数が増えることを前提に構想されているが、減少した場合はどうするのか。案があった方がよい。	ご意見として承ります。 「Ⅱ-1 鹿児島市及び市立小・中学校の状況」では、鹿児島市全体の年少人口を示しておりますが、本基本方針は、適正化を検討する範囲にあるそれぞれの学校について検討していくこととしています。	E
167	2	個々の児童生徒に細かな指導が行き届く学習環境の樹立（個々に目の届く学習指導）	ご意見として承ります。	E
168	2	同一教科・同一内容で、学級解体しての授業（能力別学習）	ご意見として承ります。	E
169	2	各学年2学級は少なく感じる。競うことが少なくなってきた現代教育で、クラスの個性の違いや、クラス単位での競争（クラス対抗）をもっと取り入れ、経験させる環境が望ましいので、少なくとも3学級はあった方がいいのではないのでしょうか。	ご意見として承ります。	E
170	2	私の校区にある小学校は、各学年2・3学級あり、子ども達の環境としてはちょうどよく感じます。先生たちも全校児童の顔と名前を把握されているのではないかと思います。中学校は現在は4学級ずつあり、〇〇コンクール、体育大会・文化祭など、クラス単位で何かに取り組み・集団で何かに取り組むこと・達成感・競争心を体験できていると思います。理想は各学年4学級くらいがいいのではないかと感じます。	ご意見として承ります。	E
171	2	小学校の複式は、早く解消してほしい。昨年度は、教頭が担任をして、養護教諭がいない状況で、これでいいのか疑問に思った。	ご意見として承ります。	E
172	2	市教委の示す一校あたりの適正規模の児童・生徒数、学級数でも少ないと思う。児童・生徒が多い方が教育環境は有利に働く。また部活等の選択肢も広がる。無責任に言わせてもらうならば、1学年最低4・5学級が鹿児島市の学校らしい。	ご意見として承ります。	E
173	2	理想の規模にするのは難しいので、全校40人を割り込んだら廃校を考えるべきだ。	ご意見として承ります。	E
174	2	1クラス20人～30人とし、1学年2クラスにする方向でよいと思う。	ご意見として承ります。	E
175	2	2クラスあることで、子供の競争心、担任の先生のスキル競争が期待できる。	ご意見として承ります。	E

番号	項目	意見等の概要	対応状況	対応区分
176	2	学校規模の適正化については、おおむねこのような学級数でよいと思うが、学級の定員については、現行でなく30人程度で考慮した方がよいのではないかと。	ご意見として承ります。	E
177	2	同じ校区で人数が多いと、分校になることは少しさびしい気もするが、子供が豊かな環境の中で教育を受ける規模としては、可能ならば望ましい基準であるとする。	ご意見として承ります。	E
178	2	かつて、中央研修で欧米の学校を視察したことがあるが、1学級当たりの児童生徒数が少なく、個に応じたきめ細かな指導が行われていた。少子化の時代、一部の地域で試行的にやってみるのも価値がある。	ご意見として承ります。	E
179	2	小学校、中学校各一つに統合が望ましいのではないかと。	ご意見として承ります。	E
180	2	学級規模の適正化（各学年2学級）と適正配置は、反比例することになるので反対である。	ご意見として承ります。	E
181	2	全市内（旧市内中心部等も含めて）の児童生徒数の推移や実態調査等を十分に行い、検討した上で対応していただきたい。市の中心部の学校の統廃合が大きな課題だと思う。	ご意見として承ります。	E
182	2	小学校12学級、中学校9学級は適正と思う。児童も友達の名前等も覚え、親しくなれる範囲だと思う。	ご意見として承ります。	E
183	2	各地で事件に巻き込まれることもある中、通学距離が広すぎ、通学時間がかかりすぎると思います。	ご意見として承ります。	E
184	2	配置については、教育委員会だけではできない。通学距離等で考えるからおかしくなる。	ご意見として承ります。	E
185	2	近隣にマンモス校があるので、学区の見直しをし、児童の振り分けをした方がよいと思うので、適正化に賛成です。	ご意見として承ります。	E
186	2	学校規模の肥大化は、放置してほしくない。集団の中で育つ子供や職員数にも、ほどよい数が必要と考える。少子化の対応も必要だが、ますます人口が増えていく地域のことも配慮してほしい。	ご意見として承ります。	E
187	2	学校規模や学級数が、教育効果へ影響するとは考えられない。	ご意見として承ります。	E

番号	項目	意見等の概要	対応状況	対応区分
188	2	桜島などの場合、マイクロバス利用を考慮すべきだと思います。(東桜島小・中、黒神小・中)	ご意見として承ります。	E
189	2	現在、複式授業等をしなければならない極小規模校を、小規模校改善以前に早急に対処方、よろしくお願ひしたいと思います。	ご意見として承ります。	E
190	2	適正規模校についての、市が想定する根拠が示されていない。(例えば、文科省案?)	ご意見については、「Ⅳ 適正な学校規模と適正配置の考え方」の中で掲載しており、「鹿児島市における適正な学校規模」は、国の法令や文部科学省の「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引き」を踏まえるとともに、鹿児島市学校規模適正化検討委員会による検討結果を基に設定したところです。	E
191	2	学校の統廃合には大反対である。	ご意見として承ります。	E
192	2	児童生徒数に合わせるだけの校区割の見直しは理解できない。	ご意見として承ります。	E
193	2	学校も3~4クラス(各学年)少人数クラスの配置が必要だ。	ご意見として承ります。	E
194	2	学級数で適正な学校規模を考えることは理解する。一方、児童数が100人以上いる学校規模の場合は、学級数に関係なく、地域の拠点として活かしてほしい。	ご意見として承ります。	E
195	2	表示されている規模や配置は、適正であると思われるが、通学距離と通学時間の基準が、少々長いように思う。	ご意見として承ります。	E
196	2	示されている適正な学校規模と適正配置については、同じテーブル上では検討できないのではないかとと思う。	ご意見については、「Ⅳ 適正な学校規模と適正配置の考え方」の中で掲載しており、「鹿児島市における適正な学校規模」、「鹿児島市における適正配置の基準」は、国の法令や文部科学省の「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引き」を踏まえるとともに、鹿児島市学校規模適正化検討委員会による検討結果を基に設定したところです。	E
197	2	行政からすれば、学校規模と適正配置の基準を決めることで、適正化を検討する範囲を厳密に決められることができるが、小規模校ではもう少し寛大な措置をお願いしたい。	ご意見として承ります。	E
198	2	家からの距離で見ると、隣の学校が近いのに、校区外と言われるようなことがないようにしてほしい。	ご意見として承ります。	E
199	2	この数字が本当に適正と言えるのか、なぜなのかわかるようにしてほしい。	ご意見については、「Ⅳ 適正な学校規模と適正配置の考え方」の中で掲載しており、「鹿児島市における適正な学校規模」は、国の法令や文部科学省の「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引き」を踏まえるとともに、鹿児島市学校規模適正化検討委員会による検討結果を基に設定したところです。	E

番号	項目	意見等の概要	対応状況	対応区分
200	2	附属などの特に望んでの進学以外は、小学生に通学の1時間以内は少しきついように感じます。	ご意見として承ります。	E
201	2	適正規模が38校しかないことに驚く。6学級でも適正と思う。「適正」の考え方をもっと追求していくべきである。	ご意見については、「Ⅳ 適正な学校規模と適正配置の考え方」の中で掲載しており、「鹿児島市における適正配置の基準」は、国の法令や文部科学省の「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引き」を踏まえるとともに、鹿児島市学校規模適正化検討委員会による検討結果を基に設定したところです。	E
202	2	学級数で「過小～」から「過大～」まで6段階に分けてあるが、学級定数は減るかもしれないので、人数でまず考えた方が良いのでは。（武岡小358人で小規模校？）	学校規模については、国の法令や文部科学省の「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引き」を踏まえたものであるため、ご意見として承ります。	E
203	2	数合わせで統合等を考えない。その地域の歴史性、社会背景等を熟慮する必要がある。	ご意見として承ります。 学校の規模適正化・適正配置については、児童生徒数のこれまでの推移やこれからの将来推計、学校規模に起因する教育課題、地域の実情などを考慮しながら、検討してまいります。	E
204	2	各学年2～3クラス程度が適正だと思う。	ご意見として承ります。	E
205	2	適正の基準を何にするかや、小学校と中学校を分けて考える必要があると考えます。	ご意見については、「Ⅳ 適正な学校規模と適正配置の考え方」の中で掲載しており、「鹿児島市における適正な学校規模」は、国の法令や文部科学省の「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引き」を踏まえるとともに、鹿児島市学校規模適正化検討委員会による検討結果を基に設定したところです。	E
206	2	一番気になるところが通学時間です。中学生の1時間と小学生の1時間は大きく違いがあると考えます。	ご意見として承ります。	E
207	2	学校規模に関しては問題ないと思うが配置について小学校の通学が1時間以内というのは少し長いと思う。	ご意見として承ります。	E
208	2	市の示す適正化の基準（考え方）が妥当かは疑問がある。数値で測れない要素も多く存在する。	ご意見については、「Ⅳ 適正な学校規模と適正配置の考え方」の中で掲載しており、「鹿児島市における適正な学校規模」は、国の法令や文部科学省の「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引き」を踏まえるとともに、鹿児島市学校規模適正化検討委員会による検討結果を基に設定したところです。	E
209	2	各学年最大4学級とすると、低学年（小1・2年）は、少人数クラス制であり、3年生以上が3学級に減ると思われる。各学年の学級数は目安として表記して、学校全体の学級数で考えるのがよいのではないか。	ご意見として承ります。	E
210	2	広範囲での学校の通学距離は、不登校を引き起こしかねない。運用にあたっては、小学校120名～300名、中学校80～240名程度の児童数・生徒数を望む。（特に少ない方（最低数）が重要）	ご意見として承ります。	E
211	2	多くの学校が適正化の検討対象となってしまう。地域文化の拠点としての学校を守り続ける方向での適正化を考えて欲しい。	ご意見として承ります。	E

番号	項目	意見等の概要	対応状況	対応区分
212	2	1人の児童で学級数が1増となる場合もあり、学級数だけで学校規模をとらえて良いのだろうか。	学校規模については、国の法令や文部科学省の「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引き」を踏まえたものであるため、ご意見として承ります。	E
213	3	義務教育学校や併設型の小中一貫校の導入については、相当の予算を伴うため、慎重に検討いただきたいと思えます。	ご意見として承ります。	E
214	3	中山小の場合、貴教育委員会が示した手立て5項目のうち、4「学校施設の整備」または5「学校の分離新設」による「適正化」を目指すべきだと考えるが、貴職の現時点での方針を示してほしい。1、2、3の手立ては考えられないと思うが、どうか。とくに、1「校区の変更」については、地域協議会としては認められない。「校区外通学など運用面での柔軟な対応」を求めたい。	ご意見として承ります。	E
215	3	地域に人を呼び込むために、本年度スタートしたコミュニティ活動への参加者が増えつつある。まずは、地域を元気にして、学校の灯を輝かせ、入ってくる人を待ちたい。それが、適正化への手立てと考えます。	ご意見として承ります。	E
216	3	基本的には学校の統合か校区の変更になると考えます。小規模な小・中学校での一貫教育には慎重な対応が必要では思えます。9年間、同じ人間関係になり、多様性に欠ける結果になるのではと考えます。	ご意見として承ります。	E
217	3	教室不足時の増築による教室確保は財政の厳しい中、敷地の確保等可能なのでしょうか？結局は仮設校舎となり、校舎の耐震性などのことを考えると、問題があるのではと考えます。校区変更が適切な手段と考えます。	ご意見として承ります。	E
218	3	産業（経済活動）観点から、校区の人口の少ないところに配慮する手立てがあったならいいと思う。	ご意見として承ります。	E
219	3	通学距離・通学時間を考え、夏季・冬季の始業時刻の配慮が必要ではないか。（夏・冬期の）	ご意見として承ります。	E
220	3	校区の変更、学校の統合、分離には、住民の大きな抵抗が伴うのは必至である。合意形成には時間をかけて、慎重にやるべきである。	ご意見として承ります。	E
221	3	隣接する大規模校（中山小）は、校庭にプレハブがたち、児童も思う存分校庭で遊べないのではないかと懸念しています。プレハブがたっていることで、学校の死角も増え、安全面からも不安です。早急に対応できる手段として、まずは近隣の学校で通学距離の適性範囲にある住所の方を対象とし、校区の変更や校区を自由に決定できる（〇〇小でも〇〇小でもいい）区割りが必要ではないでしょうか。	ご意見として承ります。	E
222	3	小規模校は、学校区の範囲もあり、通学を考えると一概に統合すればいいとはいきれないところですが、吉野や中山など、大規模校になるのはあつという間で、子ども達の成長もあつという間です。大規模校は早急な対応が必要だと思えます。	ご意見として承ります。	E
223	3	地理的に不自然な割り振りがある。三和町が鴨池中でなく南中だったり、鴨池2丁目の一部（ハイツ）が中郡小でなく八幡小であったり、開校時の都合で振り分けてあると思われる学校区の見直しが必要である。他にもありそうなので、状況の整理も行ってほしい。	ご意見として承ります。	E

番号	項目	意見等の概要	対応状況	対応区分
224	3	学校によっては、統合しても適正規模校にならない場合があります。小中一貫型にすることで、PTA戸数を確保することができ、親の負担も減らすことができると思います。	ご意見として承ります。	E
225	3	小中一貫教育の導入には反対です。喜入では、小学校は、喜入小学校一校にしたいと思っています。	ご意見として承ります。	E
226	3	学区の境界地域は（通学が可能であるなら）地図上の区割りにこだわらず、保護者の考えで選択できるようにする。もしくは、大規模校地域では、学区を選べる地域を設定する。	ご意見として承ります。	E
227	3	生徒数の少ない学校は、先生の目が届きやすい。その利点を生かし、優秀な先生を少人数校に配置し、遠い場所から生徒を集める。保護者が年払いで、スクールバス代が高くても払うように、カリキュラムと実績を作る。	ご意見として承ります。	E
228	3	小中一貫教育の導入については慎重にした方がよい。〇〇学校7年～9年というのは長過ぎる。人間には節目というものが必要であり、新鮮な気構えを持つことが大事である。9年というのでは、子供たちも教職員もマンネリ化する。	ご意見として承ります。	E
229	3	個人の要望で校区外へ行くことは本人の自由だが、小規模にするならば、同じ校区（地区別）で分けていただくと、地域交流も維持できると思う。	ご意見として承ります。	E
230	3	小中一貫教育は、年齢差を考えると必要性を感じない。	ご意見として承ります。	E
231	3	15年前、明和小に勤務していた時、明和中の校長と話し合い、国語と算数の交換授業を実施したところ、子供たちが、特に数学教師の授業に関心をもった。小中一貫教育を重視してほしい。	ご意見として承ります。	E
232	3	小規模校の特徴は、校区が非常に広く人口密度が低いので、小学校を中心に校区の見直しを行う。犬迫地区では、入佐地区・萩別府地区から最寄りの小学校へ多数通学している状況にある。子供の通学手段（公共交通機関等）を見直して、親子の負担軽減を図ることにより入学を促進する。	ご意見として承ります。	E
233	3	小中一貫教育がどのようなものなのかが分からない。玉龍中のように私立と同じような受験するようなかんじになるのか、校区で特別に一貫にしていくのか。	ご意見については、「V-3 小中一貫教育の導入」の例1、例2で挙げていますように、学校や地域等の実情に応じて、近隣の小学校と中学校が統合することを想定しております。	E
234	3	中山小学校は、あまりにも大規模なので、西谷山小や清和小も大規模校であることを踏まえると、分離新設の方がよいのではないかと。	ご意見として承ります。	E
235	3	現状を基本にして、今後どう推移していくか総合的に検討し、学校の統廃合等、十分検討していくこと。団地等では、当分現状維持が続いていくと思う。	ご意見として承ります。	E

番号	項目	意見等の概要	対応状況	対応区分
236	3	児童生徒数の推移等を十分検討し、適正規模を基本に配置等を検討したら、最も早く手を打つのは、市の中心部の学校が一番手になると思う。団地の学校は、順次増減を考慮していけばいいと思う。	ご意見として承ります。	E
237	3	通学する学校は、区域内だけではなく、隣接校への入学を柔軟にすべきである。	ご意見として承ります。	E
238	3	小中一貫教育導入には賛成です。校区の変更等、多くの問題がありそうですが、よりよい環境づくりのため、よろしくお願いします。	ご意見として承ります。	E
239	3	小中一貫校は各地で進んでいるようであるが、本当に有効なのか、よく検討していただきたいです。	ご意見として承ります。	E
240	3	校区の変更が一番だと考えます。	ご意見として承ります。	E
241	3	市教委案について、基本的には賛成です。今、大規模校でも人口減少により、小規模校になることを考慮していただきたい。	ご意見として承ります。	E
242	3	学校の統合によって、数字上は適正化が図られるが、現存する小学校を統合するのであれば、その先の中学校で一つになることを考えて、「V-3 小中一貫教育の導入」の例2のような小中一貫型を考慮すれば、保護者の承認を得られやすいと考える。	ご意見として承ります。	E
243	3	小中一貫教育が東京方面では確立されている。子供たちの成長を、小学校と中学校が連携した中ではぐくむことが望まれる。吉野は、川上方面にもう一校設立の意見が多い。	ご意見として承ります。	E
244	3	マンモス校は、運動会などの学校も、大変な状況である。トイレの数なども足りない。校庭も体育館も狭い。急ぎ対応してほしい。	ご意見として承ります。	E
245	3	複式学級のある東桜島小や黒神小の場合は、小中一貫教育より、両校の統合か、桜洲小や桜峰小との統合の方がよいと思います。	ご意見として承ります。	E
246	3	特認校制度を利用して錫山小中学校で学んだ子供は、心身ともに成長し、卒業し、進学している。	ご意見として承ります。	E
247	3	特認校のみならず、小規模校への通学を希望する子供のために、一部の校区割を撤廃できないか。	ご意見として承ります。	E

番号	項目	意見等の概要	対応状況	対応区分
248	3	錫山は小中併設校であり、今後、一貫教育の導入を検討しているなら、モデル校としての価値に値する。	ご意見として承ります。	E
249	3	地域と連携し、地域の埋もれた宝（経験、知恵をもつ高齢者）を、大いに利用し、活用する。	ご意見として承ります。	E
250	3	「統廃合ありき」を前提として考える前に、小規模校の良さを活かす努力をした上で、期待できなければ適正化に踏み切る。	ご意見として承ります。	E
251	3	児童生徒数の超減少の校区では、地域の学び文化の伝承も配慮して、小中一貫校導入への再編などが望ましいと考える。	ご意見として承ります。	E
252	3	吉田小・吉田北中は、一貫校としての導入は望ましいと考えられる。他の校区のことは述べにくい。	ご意見として承ります。	E
253	3	基本方針でほほよいと思う。「複数の過小規模・小規模小学校」と「複数の過小規模・小規模中学校」が統合され「小中一貫型小・中学校」として再編しても適正規模に至らない場合、よりよい教育環境を整える具体的な方針・方策が示されると対象地域の保護者は安心するのではないかと思う。	ご意見として承ります。	E
254	3	鹿児島市教委の基本方針は、概ね妥当だと考える。この中に、「小中一貫型小学校・中学校」が示されているが、この他に、義務教育学校という考え方はないのか。「小中一貫型小学校・中学校」の場合、校長は2人いることになるのか。一つの学校には、校長は一人でいいと考える。	ご意見として承ります。	E
255	3	大規模校の分離・新設に関しては中長期的に見て慎重な判断は理解出来ますが、ただ現実問題として、子供たちの安全性や教育・指導の低下（教育環境の不均衡）についての配慮がやや遅れているように感じられます。（提言の中では貴会も十分認識はしてはおりますが）	ご意見として承ります。	E
256	3	特に、喜入地区・郡山地区・吉田地区・桜島地区等の統廃合が考えられるが、小中一貫教育の導入等も望ましいと考える。	ご意見として承ります。	E
257	3	大規模校では、通学距離等も考慮しながら、校区の見直しをしたり、学校を選択できるようにしてもよいのではないかとと思われる。	ご意見として承ります。	E
258	3	校区の変更によって、本当によいことがあるのか。	ご意見として承ります。	E
259	3	大変必要性があると感じます。一人ひとりを大切にすると心の行き届いた教育がどんな時代にも求められています。特に過大規模校は、早急に新設措置対応すべきではないかと考えます。	ご意見として承ります。	E

番号	項目	意見等の概要	対応状況	対応区分
260	3	小中一貫型は、今後の学校の在り方を検討する中で、有力な方法と思います。過大規模校に関しては、早急な対応を求めます。先生も生徒も顔のわかる（全員の）関係、規模が求められています。	ご意見として承ります。	E
261	3	校区の変更は住所で分けられるのではなく、隣接する学校を選択できればと思う。	ご意見として承ります。	E
262	3	大規模校の分離は早く進めるべき。	ご意見として承ります。	E
263	3	小学校が地域活動の核になっているため、校区の変更は地域活動の衰退に繋がる恐れがある。学校施設の整備を小規模校、大規模校ともに必要である。	ご意見として承ります。	E
264	3	小学校校区が地域活動をする上での核となっている為、校区の変更は衰退に繋がる可能性があると思います。考えるとすれば、検討範囲の小さい中学校から着手した方が良いと思います。	ご意見として承ります。	E
265	3	おおむね問題はないと思うが、過大規模の2校に関しては分離も検討しても良いのではないかと思う。（特に、中山小に関しては、今後も児童数は増えるのではと、素人ながら思うため。）	ご意見として承ります。	E
266	3	大規模・過大規模校については、案のとおり学校施設の整備により対応することが望ましい。分離新設しても、いずれ少子化の影響を受け、適正化が必要となる。	ご意見として承ります。	E
267	3	過大規模校は、校舎やトイレの増築も土地がないためできないなら、分離新設（分校）を進めていく必要がある。	ご意見として承ります。	E
268	3	土地、住宅事情が変化してきているので、区画整理や大型団地開発の校区から、改めて校区割の見直しをしてはどうか。おかしい所が多数ある。	ご意見として承ります。	E
269	3	区画整理等から、これからも人口増加が見込まれる校区については、先行きを見据えて、学校移転、分校新設も積極的に行うことで、次世代の育成に繋がると思う。	ご意見として承ります。	E
270	3	吉野小、川上小、大明丘小の3校の校区見直しをして、吉野分校（花棚周辺川上町）の設置をお願いします。	ご意見として承ります。	E
271	3	校区の変更、小中一貫校、通学方法の検討を望む。	ご意見として承ります。	E

番号	項目	意見等の概要	対応状況	対応区分
272	3	小中一貫校の導入は、歴史ある郷中教育の再生につながり、学力面でも連携した指導が期待できることから、積極的に進めて欲しい。	ご意見として承ります。	E
273	3	校区の変更や統合については、隣接する所があれば良いと思いますが、新設については、今後のこと（地域人口）があると思いますので、検討が必要と思います。	ご意見として承ります。	E
274	3	教育環境を整備し充実させていくことは、学校規模をいじることではなく、1学級の人数を減らし、教職員の数を増やす努力を惜しまないことも1つの方法ではないでしょうか。	ご意見として承ります。	E
275	4	貴委員会が示した5項目のほか、その地域の歴史や文化、人的交流などその特性を生かした学校の「適正配置」を考える必要がある。単に数字合わせだけの「適正化」では、地域づくり、まちづくりにも弊害が出る恐れがある。	ご意見として承ります。	E
276	4	地域を活性化させる施策を1つでも実施してほしい。例として、市営アパートの家賃制度を緩和できないか。共稼ぎの若者に、家賃が高すぎて指宿市に住む人たちがいる。当地域にある市営アパートは、このような影響を受けて空いている。ぜひお願いしたい。	ご意見として承ります。	E
277	4	かつては、団地ができて人が増え、学校が必要とされた。現在は、学校の周辺に住宅が増えてきている。生活の環境が学校中心になっているようです。学校周辺（通学区域内）の住宅政策に、行政が関与する必要が生じつつあるのではないか。	ご意見として承ります。	E
278	4	素晴らしい留意点であると思います。本校区は、小学校開校30周年を迎えましたが、児童生徒数は横ばいか、減少傾向が懸念される。「Ⅵ-5 関係機関等との連携」（特に市営住宅の建設）を充実され、さらに子供たちの安全・安心、笑顔が見られることに留意していただけると有難い。	ご意見として、承ります。	E
279	4	住宅団地等による集中により、児童生徒が急に増加する傾向があるので、行政として住宅やその他の動きを市全体として把握し、学校の校区区割を配慮すべきである。	ご意見として承ります。	E
280	4	教育長任命による「仲良し」審議会などで、一気に事をすすめてはならない。この種の問題に対する市民の反応は、なかなか表に出ず、内心に「マグマ溜まり」する。そして、一気に爆発することを肝に銘ずべきである。	ご意見として承ります。	E
281	4	校区をかえた場合、うちは〇〇小だけど、お隣さんは△△小。などご近所同士で学校が違う場合ができる可能性がある。地域行事・町内会・あいご会などを考えると、地域単位での校区変更が望ましい。	ご意見として承ります。	E
282	4	同じ学校に通うことになる子供たちの交流の場が設けられるといいと思います。	ご意見として承ります。	E
283	4	地域の理解も大事ですが、子供・保護者の考えを最優先に考えてほしいです。	ご意見として承ります。	E

番号	項目	意見等の概要	対応状況	対応区分
284	4	どうしても鹿児島市の場合、中学校単位で地域のエリアを考えがちになる。そのところをゼロベースで公民館単位の児童・生徒の人口比率で学校数を考えるのもひとつの方法では…。取り敢えず、校区の市民の概念を変える。	ご意見として承ります。	E
285	4	地域の人と何回も話し合いをもち、地域の人々の賛同を得て合併することが望ましい。	ご意見として承ります。	E
286	4	地域の方は、学校の廃校には反対がほとんどだ。しかし、保護者は統合を望んでいる人が多いと思う。保護者の気持ちを尊重してほしい。	ご意見として承ります。	E
287	4	①子育てのしやすさ、②地域の活性化、③人間力の向上、④学力の向上（特に英語）、⑤忍耐力の向上、⑥コミュニケーション力の向上を優先で考えてください。	ご意見として承ります。	E
288	4	鹿児島市は、現在各校区単位で、5か年計画の地域コミュニティプランを策定しながら、地域づくりに取り組んでいます。学校は、そのプランにも大いに係わっています。各地域のコミュニティプランも十分に考慮して実施してほしい。	ご意見として承ります。	E
289	4	進める上で、いろんなたくさんの方の困難点が出てくると思われるが、地方では成し遂げている。頑張ってください。	ご意見として承ります。	E
290	4	適正化を検討する範囲の小学校区には、既存集落活性化住宅建設事業による市営住宅が建設中であります。犬迫校区でも第一期・第二期工事を経て、20家族が入居しています。当住宅からの新入学児童が徐々に増えつつあります。なお、当該地区は、市街化調整区域という都市計画の網がかぶせられており、市街化を抑制してきた国の施策も影響しております。近年、市街化調整区域における住宅建築等に関する条例も改正され、若者のUターンによる住宅建築等があらゆりにみられます。超高齢化が進む中、若者が少しずつ生まれ育ったふるさとに目を向けております。その芽を摘むような適正化には反対いたします。	ご意見として承ります。	E
291	4	子どもに対する配慮はどのようにするのか。自分が小学生の頃、坂元台小学校が途中でできて、なにも知らされぬままお友達と離れた記憶がある。子どもに対する配慮を掲げるのであれば、具体的にどのような取り組みを行うのか開示するべきだし、子どもにも直接行政が説明してほしいと思う。	ご意見として承ります。	E
292	4	大規模校の周辺は、特に（中山小は特に）交通量も多く、道路（通学路）も狭い所が多いと思うので、ぜひとも安全な通学路の確保をお願いしたい。	ご意見として承ります。	E
293	4	広く市民の声と専門家の方々との意見集約で決めてください。	ご意見として承ります。	E
294	4	共働き世代の増加で、PTA活動も変化してほしいです。転勤で、祖父母などと離れ、働きにくい専業主婦が、多くかかっているのが実態です。管轄外だとか、責任者ではないとかではなく、「学校というものは…」と、0から考えて、適正化を検討していただきたいです。	ご意見として承ります。	E
295	4	現在の児童生徒数の有り様は、自然淘汰もあるだろうが、関連行政機関の無計画さが生んだものである。教育委員会だけで解決していく問題ではない。将来的な住宅事情、交通事情、開発計画なども勘案していかなければ、また失敗するのは目に見える。	ご意見として承ります。	E

番号	項目	意見等の概要	対応状況	対応区分
296	4	コミュニティ協議会等、地域の団体は小学校区でほとんどが活動しているので、適正化することで多少の問題は生じると思う。	ご意見として承ります。	E
297	4	校区変更、学校の統合については、その地域の歴史や地域住民の意向なども充分考慮していただきたい。	ご意見として承ります。	E
298	4	学校は地域社会の交流の場所・拠点という側面もあり、学校が消滅しないように、小規模校対策が急務と思われ ます。	ご意見として承ります。	E
299	4	提案のとおりでよいと思うが、保護者、当事者の子供たちへの説明は、一人一人が確実に納得するよう、何度も実施する必要がある。	ご意見として承ります。	E
300	4	私たちの吉野校区は、大変歴史のある学校区だが、学校周辺は、昔ながらの通学路で、通学環境は悲惨な状況で ある。是非、環境整備に留意してほしい。	ご意見として承ります。	E
301	4	小学生の通学上の問題が生じる可能性を考えると、現状の中での改善を考えるべきである。	ご意見として承ります。	E
302	4	喜入地域で行政が考えそうな手立ては、小規模校の統合だろうと推察する。行政が進めているまちづくり（地域 コミュニティ協議会）にマイナスの影響が大きい。	ご意見として承ります。	E
303	4	小学生の長距離通学等を考えれば、更に少子高齢化となる。	ご意見として承ります。	E
304	4	小学生は、特に他地区への通学等に関しては、不安や抵抗感が大きい。保護者や地域の方々への不満・不安は大き くなる。もうこの校区に住みたくないと考えたり、学校へのボランティアや連携が薄くなったりすることが考え られる。	ご意見として承ります。	E
305	4	本地域の子供の成長が保障されるためには、学校・保護者・地域住民の連携が必要で、そのためのまちづくり協 議会ではなかったのか。子供のことより、財政的視野からの発信ではないかと思うが、いかがなものか。	ご意見として承ります。	E
306	4	子供への配慮…具体的な取組について説明されていない。	ご意見として承ります。 本基本方針に掲載しております内容は、学校の規模適正化・適正配置について基本的な 考え方や方向性についてまとめるものであるため、具体的な内容については、本基本方針 を基に今後取り組んでまいります。	E
307	4	通学路変更の安全確保の具体案は、どのようなものか。	ご意見として承ります。 本基本方針に掲載しております内容は、学校の規模適正化・適正配置について基本的な 考え方や方向性についてまとめるものであるため、具体的な内容については、本基本方針 を基に今後取り組んでまいります。	E

番号	項目	意見等の概要	対応状況	対応区分
308	4	学校は、地域の行事に参加し、地域は学校の行事に参加する関係が大切だ。	ご意見として承ります。	E
309	4	小学校・中学校の廃止・統合は、小中一貫教育として生まれ変わる方向は、保護者・地域の同意が得られやすく、よい方法だと思う。	ご意見として承ります。	E
310	4	表示された統計では、児童生徒がかなり減少しているけれども、学校数は少々増加している。適正化については、地域社会の文化の拠点は小学校であり、できるだけ現存維持が望ましいと考える。	ご意見として承ります。	E
311	4	表示された5項目に傾注し、現代社会にマッチした校舎や施設設備と同時に、適切な教職員の配置・人事など配慮してほしい。	ご意見として承ります。	E
312	4	統合された地域や、統合された住民の意識を重視してほしい。メリットばかりを強調して統合しても、地域住民に大事にされる学校にはならないと思う。	ご意見として承ります。	E
313	4	居住者の中心市街地への集中は、今後も続く可能性があり、魅力ある地域を作るため、人口減地域への手厚い政策など市の行政との連携も重要であると思う。	ご意見として承ります。	E
314	4	人口の分散化、地域の活性化、働く場所の確保、空き屋対策、住宅の建設等々、その地域に人が居住して、子育てができる方法を検討していくことはできないのだろうか。そうすれば、この問題も不要になってくると考える。	ご意見として承ります。	E
315	4	子供のことを第一に考え、メリットは最大限に、デメリットは最小限になる方針をまとめてもらいたい。	ご意見として承ります。	E
316	4	すべての児童生徒が、小規模・大規模にかかわらず、平等に学校生活を送れるようにしてほしい。	ご意見として承ります。	E
317	4	学校が地域活性化の拠点として、運動会やその他の行事などを一緒に行っている地域もあると思います。地域に学校がなくなった場合のその後を、他の都市などの例も交えつつ十分に検討してからの実施が望ましいと思います。	ご意見として承ります。	E
318	4	校舎・設備の老朽化を感じます。	ご意見として承ります。	E
319	4	校区コミュニティ協議会の設立・活性化を市長部局が推進する中で、校区の変更等は、その根本を崩しかねない。整合性がとれないのではないかと。	ご意見として承ります。	E

番号	項目	意見等の概要	対応状況	対応区分
320	4	郊外と市街地では、学校が地域に果たしている役割の大きさが違うことをおさえるべきではないか。	ご意見として承ります。	E
321	4	地域の声を十分にきいてほしい。統合等は希望する地域にだけに限る。	ご意見として承ります。	E
322	4	コンパクトシティ、歩いて暮らせるまち作り等の説明会もあった。整合性があるか。	ご意見として承ります。	E
323	4	通学する子供たちの安全確保という点だけでは、妥協がないようにしてほしい。小松原から東谷山へ通学する際、歩通のない道や、JRの踏切を通らなければならないことに、とても不安を感じている。(一カ所だけでも安全な歩道又は歩道橋があれば、良いのにと思う。)	ご意見として承ります。	E
324	4	通学バスの必要な地区も出てくると思う。バス料金の補助や便数など利用者の声を聞いて欲しい。石谷(松元中)方面をお願いしたい。	ご意見として承ります。	E
325	4	合併化される場合は、子供同士の交流を行っておき、急な変更子供たちが不安を少しでも軽減できるようにしてほしい。	ご意見として承ります。	E
326	4	現在、小学校と校区コミュニティ協議会が同範囲として活動し、地域づくりを進めようとしている。小学校が存在してコミュニティ協議会は成り立つと思われるので、可能な限り小学校を残す方向で検討が必要と思われる。	ご意見として承ります。	E
327	4	子供に対する配慮はいいとして、地域の理解と協力については、具体的な手段を明示し、安全確保は次の段階のことではないか。総合的な観点からといっても、抽象的でよくわからない。	ご意見として承ります。 本基本方針に掲載しております内容は、学校の規模適正化・適正配置について基本的な考え方や方向性についてまとめるものであるため、具体的な内容については、本基本方針を基に今後取り組んでまいります。	E
328	4	地域にある学校としての役割も大切であるが、それ以上に、実際に通学する児童やその保護者にとって、よりよい教育環境を充実させていただくことを望みます。	ご意見として承ります。	E
329	5	県内の統合した学校が消えたため、その地域がどのようになっているか、統合が先か、地域の活性化が先かを検討してください。	ご意見として承ります。	E
330	5	この基本方針とは関係ないですが、先生方の人間性・人格性・道徳性の資質向上をお願いしたいです。自らの発言・言動が周りに与える影響をよく理解されていない方がおられるように感じます。	ご意見として承ります。	E
331	5	旧吉田地域は、中学校が2校しかないが、メリットもあり、デメリットも散見される。本校区の場合、外部と中学校の連携が希薄であるような個人的見解をもっている。「教育は人なり」の言葉どおり、全住民と教職員が連携支援をしていきたい。	ご意見として承ります。	E

番号	項目	意見等の概要	対応状況	対応区分
332	5	私自身が、小学校、中学校ともに、当時の大規模校に通っていましたが、私の子供たちを小規模校に通わせる時は不安でいっぱいでしたが、今は良かったと思っています。	ご意見として承ります。	E
333	5	特になし。	ご意見として承ります。	E
334	5	学校は安全な場所でありたい。平常の気配りが必要と考える。(いじめ、その他)	ご意見として承ります。	E
335	5	P2の1の8行目「15歳未満の人口は、平成27年時と平成42年度で約18,000人の減少、平成52年度で約25,000人が減少する」とあるが、下の将来人口の表と違っている。	ご指摘のありました点については、国立社会保障・人口問題研究所が公表した推計値と、「鹿児島市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」における将来人口のグラフとの関係が分かりづらいため、記載の仕方を工夫いたします。	E
336	5	児童生徒数・学校の推移で、小・中学校は減少しているが、学校数が増えている理由を記入すると分かりやすい。	ご意見として承ります。	E
337	5	よりよい環境の中で、子供たちが活動できることを望みます。鹿児島市の取組は遅いと思います。スピード感をもってやってほしい。子供が小学校で学ぶ機会は、1回しかないのです。	ご意見として承ります。	E
338	5	学校が地域のインフラであるのは間違いないが、地域を背負い過ぎであると思う。学校は学力向上が使命と考える。挨拶等家庭の躰まで面倒見ているのが現実。学力低下もそのような事に起因している。綺麗事抜きで学力向上する事で知性を身に付け品行方正になった学校を見てきた。	ご意見として承ります。	E
339	5	人口はどんどん減る。子供の数も減る。子供が増える校区は少ない。経済的にも小学校の統廃合をどしどし進めるべきだと思う。	ご意見として承ります。	E
340	5	規模が問題とは思わない。特に、英会話力の向上、学力向上のために、少人数化し、コミュニケーション力、交渉力、生きる力を向上させるための学校配置を考えてください。	ご意見として承ります。	E
341	5	学校には、子供たちだけの「切磋琢磨」ばかりでなく、教職員の切磋琢磨も必要である。	ご意見として承ります。	E
342	5	40年前、加世田市の長屋小に勤務したことがある。1学級10名程度の児童数で、順位が短距離走のように学年が進んでも変わらず、意欲が乏しかった。それで、毎朝7時30分から8時までそろばんと習字練習を始め、自分の中にライバル意識をもたせ、日曜日に加世田の町まで受験に連れて行った経験がある。それなりにやると効果がある。教師の工夫と努力も育てたい。	ご意見として承ります。	E
343	5	地方都市特に始良地区の人口増のところでは新設校ですが、鹿児島市の場合、中心部の統廃合が早晚検討課題だと思います。	ご意見として承ります。	E

番号	項目	意見等の概要	対応状況	対応区分
344	5	教員の資質向上と地域との連携が必要である。	ご意見として承ります。	E
345	5	教員の働き方が問題になっていますが、地域との連携について十分検討してほしい。	ご意見として承ります。	E
346	5	子供たちのために頑張っていきたいものです。ありがとうございました。	ご意見として承ります。	E
347	5	過大規模校と小規模校でのPTA活動が、同じでよいのかなども考慮してほしいです。	ご意見として承ります。	E
348	5	現在の空き教室を有効に使いながら、適正規模にしていく。	ご意見として承ります。	E
349	5	子供たちのことを考えれば、適正化を行うことで、教員も指導しやすく、目も届きやすいと思います。いじめ等にも早めに対処できるのではないかと思います。	ご意見として承ります。	E
350	5	原則的に、校区内の子供は、校区内の学校に通学させることを基本として徹底していただきたい。越境入学は、原則として禁止していただきたい。（鹿児島大学附属小学校、附属中学校は別）	ご意見として承ります。	E
351	5	私どもの校区は、星峯西小（適正）＋星峯東小（適正だが小規模）→星峯中（適正）となるが、西小は新しい造成住宅団地のおかげで、未だ児童生徒は増えている。しかし、東小は減少しており、両小学校と中学校を含めての適正化を図る必要が、数年後には訪れると考える。その際の対応に御配慮よろしく申し上げます。	ご意見として承ります。	E
352	5	学区を越えた通学を認める類の協定検討（例：鹿児島市と南さつま市）	ご意見として承ります。	E
353	5	過疎対策事業で建設された市営住宅（住宅課所管）の利活用の制度について、再検討はどうなるか。	ご意見として承ります。	E
354	5	錫山地域住民への説明会を必ず実施してほしい。（日曜日の昼間希望）学校は地域の拠り所である。	ご意見として承ります。	E
355	5	今までの状況をみると、退職公務員（高い経験、知識をもった人多し）が、地域に根付かず、非協力的な気がする。紙上等でよく投書があるが、もっと活用すべきだ。	ご意見として承ります。	E

番号	項目	意見等の概要	対応状況	対応区分
356	5	統合の考え方は理解できるが、統合されて消滅した校区・地域をしっかりと検証することが大切である。ある町で、5つの学校を1校に統合してあるが、そのために校区や集落がどうなったかの検証は何も触れてない。	ご意見として承ります。	E
357	5	教育はあまりに効率化を求めてはならない。小規模校でも行き届いた教育で、立派な子供たちが育ち、地域も全力で応援・支援しており、努力していることを忘れてほしい。	ご意見として承ります。	E
358	5	審議会は、机上でなく、統合した新設校や、学校が消滅した地域の実態を調査して、今後を考えることが最も重要だと思います。	ご意見として承ります。	E
359	5	魅力ある学校づくりは、まずは魅力ある地域づくりから始まると考えます。我々地域住民が一体となり住みよい安全な夢のあるまちづくりの中で子供たちの健全な成長を学校と一緒に取組んでいきたいと思っています。	ご意見として承ります。	E
360	5	適正化でなく合理化である。施設の後の問題はどうか。今でも放置している施設がある。	ご意見として承ります。	E
361	5	無駄な税金を減らし、活用できるところで十分使ってほしい。	ご意見として承ります。	E
362	5	決める方々が、その地域・場所等、十分に現場を見て、子供たちがよりよい環境（交通面・学校授業面）で成長がみられるようにしてほしい。地図上だけで決めてほしくない。	ご意見として承ります。	E
363	5	自分の子供は、まだ学校に行く年齢ではないが、今住んでいる地区で、どこの学校に行くのか不安でなりません。大規模の小学校には行かせたくないのが現状です。平等に人数を振り分けるのは難しいことですが、校区外でも行けるようにしてほしい。	ご意見として承ります。	E
364	5	私の地域では小学校が18クラスで適正規模のようで、親の立場からしても特に大きな問題は感じておりません。小規模校や大規模校の地域にお住いの皆さんの意見が特に参考になるのではないのでしょうか。ただ一つだけ思うのは、学校の規模はどうであれ、先生方の資質能力の差は大きいように感じます。	ご意見として承ります。	E
365	5	校長先生はじめ、学年の先生方が全生徒もしくは、せめて同学年の生徒の顔がわかり、声をかけ合える関係があってほしいと願います。そのためには、学校が過大規模校化することには不安を感じます。	ご意見として承ります。	E
366	5	郷中教育を基本とするような、安心して通える環境、教員数の充実、施設整備の充実を求めます。	ご意見として承ります。	E
367	5	各小学校のスクールゾーン委員会などで、子ども達の登下校する道路の危険箇所チェックや、改善・おやじの会の方々が通学路に看板設置などをして下さっています。そして、登下校の時など地域の方々が、子どもの見守りや声かけをしてもらっていますが、小中学校の保護者の方は、その方々のことを知らず、気づいていないと思うので、もっと保護者の方々に周知してもらい、感謝の気持ちを持って協力してもらえるようになるといいと思います。	ご意見として承ります。	E

番号	項目	意見等の概要	対応状況	対応区分
368	5	副教師サポートをする先生をつけてみては？中学1年の娘と考えてみました。	ご意見として承ります。	E
369	5	現在で我が子が通っている学校は武岡台小学校です。私たちが小学生の頃は武岡小がマンモス校で、武岡台小学校ができましたが、分かれてからは児童数が減少し、現在ではこの学校規模の適正化にあてはまる小学校となりました。今では、一緒になればという声もたくさん聞かれますが、一度分かれた学校がまた一緒になることに対しては、いろんな問題もあると思います。現在、地域は高齢化が進んでいるのも事実ですが、新しく地域に移動して来られる方も少しずつ増えているようにも感じます。今回の学校規模の適正化を行うときに、今の児童数だけでなく、その地域性や今後の児童数の変動などもご配慮頂き、子供達にとって最良の選択がされますよう、よろしくお願い致します。	ご意見として承ります。	E
370	5	子供たちが安全かつ楽しめる学校生活を送れるように、環境を整えていただければありがたいです。又、子どもの人数や学習内容によって職員を増やしてもらいたいです。	ご意見として承ります。	E
371	5	大した意見でなくすみません。私は大規模校で育ったので、いろいろな人とふれ合えて良かったと思います。小規模校より大規模校が良いのではないかと思います。	ご意見として承ります。	E
372	5	パブリックコメント集約の方法でなく、この基本方針が行政主導でいくことなく、現在の学校と地域の十分な協議期間を経て決めていくために、学校への説明、地域への説明の機会をつくることを要望します。	ご意見として承ります。	E